

「仕事に復帰したいと言った時、反対の声の中、あなたは背中を押して支えてくれた。嬉しかった」

希少がんで情報が少なく、不安な日々を過ごしていた愛知県在住の N さん。退院後は療養のため、一時実家に戻っていたそうです。しかし、不在の間、職場の同僚に負担をかけていることが気になっていたこと、そして、気もちの中でも一歩踏み出したいと考え、「仕事に復帰をしたい」と言います。それに対して「まだ早い」と周囲は反対。ところが、夫はその気持ちを後押ししてくれたそうです。

「車で片道 30 分の道のりを、行きは父親が、そして帰りは夫が毎日送ってくれました。大変だからいいよと言うと、夫は、この時間が自分にとっても大切な時間だからと言って、付き合ってくれたことが忘れられない思い出です。」